

EBSCO のリソースと、一般的な Web (検索サービス) を比較すると...

EBSCO リソースは:		一般的な Web (検索サービス) は:
学生・教職員・公共図書館利用者の情報ニーズに応じて専門家が選定した、高品質で信頼できる論文・記事を提供します。	コンテンツの信頼性	ウェブ上では誰でも、いつでも情報を公開することができます。そしてその情報は必ずしも正確であるとは限りません。
検索結果が、利用者の行動履歴や所在地によって左右されることはありません。	関連性	検索結果は、利用者の所在地や過去の検索履歴に影響を受けることがあります。
AIが自然言語(日常的な言葉遣い)を理解し、適切なキーワードや関連概念を考慮した検索を支援します。 また、収録論文の本文を基に要約を生成し、全文を読む前に内容や関連性を効率的に確認できるAI Insightsなどの機能を備えています。	AI による検索支援	多くの AI 検索ツールはネット上に存在する様々な質の情報に基づいて回答を生成します。そのため、誤った情報や、根拠のない回答、正確性が保証されていない情報を提示することがあります。
資料タイプ別、主題、出版物名など様々な条件で検索結果を絞り込み、求める情報に素早く到達することができます。	検索フィルタ	図書館が契約しているデータベースに比べると、絞り込みのための機能は限定的です。
将来的な利用のため、検索内容と検索結果を保護された個人フォルダに保存することができます。	検索内容・検索結果の保存	同等の機能は提供されていません。
引用情報をさまざまな書式で表示、保存、印刷、メール送信、またはエクスポートできます。	引用情報の作成支援	同等の機能は提供されていません。
学生から公共図書館の利用者、そして医療従事者まで、あらゆる立場のユーザーを想定した設計になっています。 またトピックからの検索や、データベースの利用に慣れていない方も使いやすい工夫がされています。	異なる利用者の利用を想定したインターフェイス設計	同等の設計はなされていません。
米国リハビリテーション法第508条の基準に準拠しています。例えばHTML形式の記事の読み上げ機能を備えるなど、多くの人々がリソースを利用しやすい設計になっています。	アクセシビリティ対応	アクセシビリティ基準に準拠していないサイトも多くあります。 また、スクリーンリーダーや、音声読み上げ機能などの支援技術に対応しているとも限りません。
米国児童オンラインプライバシー保護法 (COPPA) に準拠しており、データベースへのアクセスに際して個人情報の入力・提供は求められません。	プライバシー保護	特に必要のない場合でも、個人情報の入力を求められることがあります。
利用者の調査・研究を支援するサポート資料、-FAQ、オンライン講習などを提供しています。	サポート	一般的には提供されていません。